



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
 一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひの かふち

《学校だより》 第6号

令和4年7月1日発行
 湯河原町立湯河原小学校
 校長 北村 和裕

3年ぶりに水泳学習が行われ、2年間ひっそりとしていたプールは、活気にみなぎった子ども達を迎え、輝いて見えます。「楽しいね」「気持ちいいね」「またやりたいね」という声があちらこちらから聞かれます。水の中を歩いたり泳いだり、また、体を浮かせたり水の中に潜ったりと、日常生活では体験できない体の動きや感覚を味わうことができるのも、水泳学習の魅力の1つです。今年は何の学年も水泳学習ができてよかったと心から思います。ご家庭でも、水泳の支度や健康チェックなどご協力いただきありがとうございます。また、水泳学習を始め、防災学習の安全見守りなど、ボランティアをしていただいた方々に感謝申し上げます。



2日間の防災学習



力を合わせてご飯を炊こう

6月16日(木)・17日(金)に5年生は防災学習を行いました。1日目は土砂崩れ、洪水、津波の3チームに分かれ、事前にハザードマップで調べておいた場所を歩いてみました。町の協力により、防災コミュニティセンターや桜木公園の防災倉庫も見せていただきました。2日目は体育館でテントを立てたり、三角巾を使ってけがの手当の仕方を学習したり、非常食を実食したりしました。運動場では火をおこしてご飯を炊いて食べました。「備えあれば憂いなし」です。どこでどんな災害が起こる可能性があるか、また、災害が発生した場合どう行動すればよいかなどを平時から考えることで、防災意識を高めていくことが大切です。今回の学習を非常時にも生かしてほしいと思います。

先生方同士で学び合っています 校内研究会

6月23日(木)の5時間目は、6年2組の教室に全校の先生方がやってきました。算数の授業を見るためです。これは、研究授業と違って、子ども達にとってより分かりやすい授業をめざすために、みんなで1つの授業を見合って協議し、先生方一人ひとりの授業改善に役立てるものです。

授業では、子ども達がタブレットを使って自分の考えを伝え合い、学びを深めて行きました。タブレットを自由に操ったり授業の振り返りをノートにびっしりと書いたり子ども達は意欲的に学習していました。後半の研究協議では、タブレットのより効果的な活用方法や振り返りの方法などが話題となりました。

子ども達が授業の中でお互いに見合い、聞き合い、教え合うように、先生方もより分かりやすい授業をめざして、お互いに学び合っています。



研究授業



研究協議

町全体でも学び合っています 湯河原町教育研究会 授業公開

6月28日(火)は、湯河原の小・中・幼稚園の先生方が来校し、全クラスの授業を参観しました。湯河原町には、本校と吉浜小学校、東台福浦小学校、湯河原中学校、福浦幼稚園の先生方で組織する湯河原町教育研究会があります。年間4回、研究会を行います。その2回目は、小・中学校が毎年順番に授業公開をし、お互いに学び合うというもので、今年度は湯河原小学校の番でした。

各クラスでは、タブレットやデジカメなどのICTを活用した授業を行いました。その後の協議では、子どもたちの様子やICTの活用状況などが話題となりました。参観された他の学校の先生方の反省アンケートをとりましたので、その内容を一部紹介します。「1～6年生まで、全体的に子ども達が落ち着いて真剣に学習に取り組んでいる」「温かい雰囲気や挨拶や返事もしっかりできている」「どの学年もいろいろな方法でICTを活用し、子ども達も使い慣れている」「中学に入学してきた1年生が、ICT機器を使い慣れているのは、小学校での積み重ねがあるからだ」と改めて感じた。



各校の先生方と協議

これからも、幼・保・小・中の縦のつながりや小学校同士の横のつながりを大切にしながら、湯河原の子ども達のために研究を進めていきます。

(その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中)

<https://www.yusho.site/>